

氏名	西 睦 正
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博 乙 第 2259 号
学位授与の日付	平成 3年 3月 28日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学位論文題目	<b>Magnetic resonance imaging of the ovarian cyst: its diagnostic value of endometrial cyst</b> ( <b>卵巣嚢腫の磁気共鳴画像：特に子宮内膜症性嚢胞に対する診断的価値について</b> )
論文審査委員	教授 平木祥夫      教授 折田薫三      教授 大森弘之

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

当科で骨盤腫瘤と診断されMagnetic resonance imaging (MRI)を施行し、その後の摘出標本または生検標本で組織学的に確定診断のついた嚢胞性卵巣腫瘤77症例94腫瘤を対象とし、得られた画像より次の知見を得た。(1)子宮内膜症性嚢胞の95.5%は内部信号強度が3画像(short SE像, IR像, long SE像)で均質であり、子宮筋層よりhigh intensityないしは子宮筋層と iso-intensity を示し、周囲臓器との境界は明瞭であった。(2) 卵胞嚢胞, 傍卵巣嚢胞, 黄体嚢胞の全てと漿液性嚢胞腺腫の95.0%, ムチン性嚢胞腺腫の90.9%は, T<sub>1</sub> 強調像(short SE像とIR像)で子宮筋層よりlow intensityないしは iso-intensity の内容を示した。(3) 類皮嚢胞腫の93.1%は3画像で, 内部信号強度が不均質で, 信号強度がhighから low intensity までの混在を示した。(4) 逆に言えば3画像ともhigh intensityのみを示す腫瘤は, 子宮内膜症性嚢胞の72.7%, 漿液性嚢胞腺腫の5.0%(嚢腫内出血を伴ったもの), ムチン性嚢胞腺腫の9.1%(嚢腫内出血を伴ったもの), 及び類皮嚢胞腫の3.4%(脂肪成分のみから成るもの)であった。(5) T<sub>1</sub> 値は子宮内膜症性嚢胞, 出血を伴ったムチン性嚢胞腺腫, 出血を伴った漿液性嚢胞腺腫, 出血を伴った黄体嚢胞, 卵胞嚢胞, ムチン性嚢胞腺腫, 漿液性嚢胞腺腫, 黄体嚢胞, 傍卵巣嚢胞の順に値が大きくなっていった。

以上より, 子宮内膜症性嚢胞はMRIの3画像において内部信号強度が均質であり, 子宮筋層よりhighないしは iso-intensity を示し, 周囲組織との境界は明瞭であるという特徴的MRI画像を示すことがわかった。そのため, 子宮内膜症性嚢胞はMRIにより96.8%の正診率で他の卵巣嚢腫と鑑別できた。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

## 論文審査の結果の要旨

本研究は婦人科領域における骨盤内腫瘍性病変の磁気共鳴画像診断法について臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった卵巣嚢腫、特に子宮内膜症性嚢胞に対する本法の診断的価値について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。